

様式第23号（第5条関係）

令和 6 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市真鍋島4093
協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
協議会長名	会長 川辺 昭政

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 5 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 282 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 733,563 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
902,000	733,563	0	168,437

2 交付金が減額変更になった理由

経費削減と、徐々に変化は出てきたがまだまだ人の動きは厳しい状況だった為。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	山道の散策と観光地を推進。
【効果】	瀬戸内の景観が楽しめる。来島者との交流、コミュニケーション作りができる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 （計画期間 1 年中 1 年目）

3 実施場所

島内全域

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 7 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 2 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
 ○団体： (団体名) , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であるため清掃。

6 決算額

436,915 円（うち交付金分 436,915 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	他の団体との協働でかなりの成果を上げることができた。
【課題】	島民だけの成果には限界があり、ボランティア団体への呼びかけが必要。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 438,000	436,915	1,085	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	438,000	436,915	1,085	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	330,000	296,000	34,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	106,000	139,515	△ 33,515	〃
役務費	2,000	1,400	600	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	438,000	436,915	1,085	決算額のうち市交付金分 ② <u>436,915</u>

市交付金の余剰金 ①-② 1,085 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 1,085 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分	活動交付金
活動名	山道の整備・保全事業
費目	報償費
No.	1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			330,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	5	6	21	参加者 5名	山道整備報償費	47,000	47,000	283,000
2	5	9	13	参加者 8名	山道整備報償費	45,000	92,000	238,000
3	5	9	25	参加者 5名	山道整備報償費	34,000	126,000	204,000
4	5	10	16	参加者 5名	山道整備報償費	35,000	161,000	169,000
5	5	10	18	参加者 4名	山道整備報償費	24,000	185,000	145,000
6	5	10	30	参加者 5名	山道整備報償費	38,000	223,000	107,000
7	5	11	6	参加者 4名	山道整備報償費	12,000	235,000	95,000
8	6	1	15	参加者 3名	山道整備報償費	15,000	250,000	80,000
9	6	1	15	参加者 1名	山道整備報償費	31,000	281,000	49,000
10	6	3	25	参加者 3名	山道整備報償費	15,000	296,000	34,000
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No. 1 小 計						296,000		

出 納 簿

交付金区分

活動交付金

活動名

山道の整備・保全事業

費目

需用費

No.

1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

予 算 額			
年	月	日	流用額
			106,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	5	7	26	櫛田農機商会	常用草刈り機 替刃2組	39,600	39,600	66,400
2	5	11	1	ホリデイ	チェーンソー替刃、ボルトカバー、ネジ	10,494	50,094	55,906
3	6	3	13	ホリデイ	除草剤、2枚刃、混合油、ヤスリ	80,781	130,875	-24,875
4	6	3	27	海上タクシー 幸進丸	お茶	8,640	139,515	-33,515
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						139,515		

出 納 簿

交付金区分	活動交付金
活動名	山道の整備・保全事業
費目	役務費
No.	1

↑ドロッパダウンリストから選んでください。

予 算 額			
年	月	日	流用額
			2,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	6	3	10	三洋汽船	運賃 (物品運搬手数料)	1,400	1,400	600
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						1,400		

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 1

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	山道の整備・保全事業

活動目的	山道の散策と観光地を推進。
実施内容	島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であるため清掃。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 他の団体との協働でかなりの成果を上げることができた。	現状と課題 島民だけの成果には限界があり、ボランティア団体への呼びかけが必要。
--	---

今後の活動の方向性・改善策

継続することが必要で、人員確保を最優先に。情報発信に注力。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続の危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とのつながりも深める。
【効果】	子育て世帯の定住を促進することによって両問題の解消を図るとともに、メンバーの増強によって地域づくりの新たな一手につばがることが期待できる。

2 実施期間

令和 5 年 6 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

真鍋島 笠岡諸島

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 15 人 (ア+イ)
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 5 人 (ア)
 その他関係人数 (当日参加者等)： 10 人 (イ)
 ○団体： (団体名) , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

島外に対し定住促進プロジェクトの周知を図りつつ、Iターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供するとともに、ツアー実施によって住宅や仕事事情、島民との交流や子育てに関する懇談などにより詳細な島暮らしの魅力を体験的な活動を通して認知してもらい、定住につなげる。また他の島の子育て世帯が交流を持つ機会も船の便の関係、それぞれの仕事事情でなかなか難しく、集まれる機会をもつ。

6 決算額

10,648 円 (うち交付金分 10,648 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	メールでの問い合わせがあった。
【課題】	真鍋島に学校がなくなる現実によって、これまでのホームページ、リーフレットの内容、活動の方向性を見直す時期になる。色んな考え方、見方、それには関係人口を増やしていくことが何より必要だと思われる。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 80,000	10,648	69,352	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	80,000	10,648	69,352	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	30,000	0	30,000	〃
需用費	8,000	0	8,000	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	9,000	10,648	△ 1,648	〃
備品購入費		0	0	〃
宿泊費	33,000	0	33,000	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	80,000	10,648	69,352	決算額のうち市交付金分 ② 10,648

市交付金の余剰金 ①-② 69,352 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 69,352 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島定住促進プロジェクト

費目 使用料及び賃借料

No. 1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			9,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	6	3	11	立替支払者	ドメイン及びレンタルサーバー代 (立替金)	10,648	10,648	-1,648
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						10,648		

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 2

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

活動目的	真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続の危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とのつながりも深める。
実施内容	島外に対し定住促進プロジェクトの周知を図りつつ、Iターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供するとともに、ツアー実施によって住宅や仕事事情、島民との交流や子育てに関する懇談などにより詳細な島暮らしの魅力を体験的な活動を通して認知してもらい、定住につなげる。また他の島の子育て世帯が交流を持つ機会も船の便の関係、それぞれの仕事事情でなかなか難しく、集まれる機会をもつ。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	1
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	1
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	1
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	1
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	1
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	1
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	1
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 メールでの問い合わせがあった。	現状と課題 真鍋島に学校がなくなる現実によって、これまでのホームページ、リーフレットの内容、活動の方向性を見直す時期になる。色んな考え方、見方、それには関係人口を増やしていくことが何より必要だと思われる。
--------------------------	---

今後の活動の方向性・改善策

学校がなくなり、今後の真鍋島を今までとは違う視点でみていく。考えていく。いろいろな人とつながる活動に尽力していくことが必要ではないか。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	3
活動名	真鍋島フットパス事業 - 真鍋島にあった!! こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅 -
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	真鍋島全体に歴史・文化・町並み・自然などの島特有の風土とアートが体験できる歩くルートを整備し、島の一年間の祭や行事などの歳事に対応したプランも提供して、真鍋島古来の生活が体験できる「島旅」をガイドと共に巡り、島民が主体的に行う本活動を通じて人の流れと経済の流れをつくり、観光客への「おもてなし」としながら交流人口・関係人口の醸成を目的とする。
【効果】	ルートを整備する事で、観光客の滞在時間・日数の増加となり、観光事業に関わる運送業・宿泊業・飲食業への波及効果が絶大となる。さらに道西喜代吉氏画集に残された貴重な近代史料と、その時代を知る島の古老たちの語りを集約しルートマップに見える化する事が真鍋島固有の広報活動となり、次代の島づくりビジョンの柱となる観光事業による経済波及効果が期待できる。

2 実施期間

令和 5 年 6 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 3 年中 2 年目)

3 実施場所

笠岡諸島真鍋島全域および笠岡市陸地部と島嶼部

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 2 人 (ア+イ)
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 2 人 (ア)
 その他関係人数 (当日参加者等)： 0 人 (イ)
 ○団 体： (団体名) タイラーデザイン事務所 , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

フットパスによるまちづくりとクリエイティブツーリズムによる出会いの場づくりによって笠岡の島・海・山・街を往還する人の流れを創り出すため、笠岡諸島真鍋島全域に限定せず陸地部と島嶼部を包含したCreative Site KASAOKA『地域の創造的な「場づくり」を笠岡から』をテーマとしたランドデザインを策定しました。

6 決算額

286,000 円 (うち交付金分 286,000 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	笠岡を舞台にした島・海・山・街から生み出される環境づくり・関係性づくりの「場」を創るCreative Site KASAOKAは、フットパスとクリエイティブツーリズムの統合によって、現代の課題に対して創造性にあふれた新たなソリューション (課題解決) を打ち出す手法をみんなで考えていく機会となっていきます。
【課題】	Creative Site KASAOKAによる未来の希望につながる笠岡オリジナルの「場づくり」が、フットパスとクリエイティブツーリズムの考えと手法によって、陸地部と笠岡諸島に点在する「8つのフットパスの拠点のみなさん」と「往還する人の流れ」を結びつけられるかが課題となります。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	3
活動名	真鍋島フットパス事業 - 真鍋島にあった!! ころのふるさと 歴史とアートをめぐる島

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 384,000	286,000	98,000	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	384,000	286,000	98,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
委託料	384,000	286,000	98,000	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	384,000	286,000	98,000	決算額のうち市交付金分 ② <u>286,000</u>

市交付金の余剰金 ①-② 98,000 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 98,000 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 真鍋島フットバス事業 - 真鍋島にあった!! ころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅 -

費目 委託料

No. 1

予 算 額			
年	月	日	流用額
			384,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	6	3	29	タイラーデザイン事務所	マップWEBサイトディレクション、マップデザイン費	286,000	286,000	98,000
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						286,000		

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 3

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	真鍋島フットパス事業 - 真鍋島にあった!! ころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅 -

活動目的	真鍋島全体に歴史・文化・町並み・自然などの島特有の風土とアートが体験できる歩くルートを整備し、島の一年間の祭や行事などの歳事に対応したプランも提供して、真鍋島古来の生活が体験できる「島旅」をガイドと共に巡り、島民が主体的に行う本活動を通じて人の流れと経済の流れをつくり、観光客への「おもてなし」としながら交流人口・関係人口の醸成を目的とする。
実施内容	フットパスによるまちづくりとクリエイティブツーリズムによる出会いの場づくりによって笠岡の島・海・山・街を往還する人の流れを創り出すため、笠岡諸島真鍋島全域に限定せず陸地部と島嶼部を包含したCreative Site KASAOKA『地域の創造的な「場づくり」を笠岡から』をテーマとしたランドデザインを策定しました。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみんで共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 笠岡を舞台にした島・海・山・街から生み出される環境づくり・関係性づくりの「場」を創るCreative Site KASAOKAは、フットパスとクリエイティブツーリズムの統合によって、現代の課題に対して創造性にあふれた新たなソリューション（課題解決）を打ち出す手法をみんなで考えていく機会となっていきます。	現状と課題 Creative Site KASAOKAによる未来の希望につながる笠岡オリジナルの「場づくり」が、フットパスとクリエイティブツーリズムの考えと手法によって、陸地部と笠岡諸島に点在する「8つのフットパスの拠点のみなさん」と「往還する人の流れ」を結びつけられるかが課題となります。
--	---

今後の活動の方向性・改善策

フットパスとクリエイティブツーリズムの二つの概念が統合され、現代の社会構造に融合されていくCreative Site KASAOKAが、笠岡の「これまで」と「これから」のあらゆる営みを見つめて、笠岡の未来の希望を創造するための方法をみんなで考えていくことが肝要です。